

No. 428

世帯数 91,582 (56)

市 表 彰 式

「奈良のうた」を合唱して
祝いに花を添えました。

おもな記事

2面 碑林拓本展の開催決
まる。秋の火災予防運動。
3面 中国西安市からハ
・キユウ講学組来京。北
京市友好代表団来京。
4面 幼稚園児の募集。小
浜市の物産と観光展。

このあと中央に引き出された大きなデコレーション・センターに、参加夫婦のうち、この日が結婚記念日にあたる市内奈良阪町木村春一（75歳）・リウ（69歳）夫妻が割れるような拍手のうちに五十年喜びのナイフを入れました。

あと茶話会に入り、一条高枝琴クラブの箏曲「さくら、さくら」などを鑑賞、末廣市万年青年クラブ連合会長の発声で万歳を三唱、思い出深いひとときの幕をとじました。

このあと玄関前で記念写真をととり、お互い金婚を祝い合い長寿を祈り合いました。

徳を積み重ねられた市民の模範と言うべき方々であり、そのご事績はまことに崇高であり、市民のかがみです。心からお祝いを申し上げ、長年のご功績に対し深く敬意を表します」とお祝いを述べ、このあとママさんコーラスの人たち六十人が受賞者をたたえろ歌「頌讃」（しよりさん）と「奈良のうた」を合唱してお祝いに花を添えました。

12月4日～10日

人権週間

守ろう人権・許すな差別

【町内自治会長】飯守町、高松一、西瀬麻堂町、中川常和、中辻北方町、中尾国秋、三条川西町、大戸良美

新自治会長
順不 同 敬 略

「これくらい」と思う油断を火がねらう」を全国統一標語に、十一月二十六日から十二月二日まで秋の火災予防運動が全国一斉に実施されます。この予防運動で、奈良市消防本部ではつぎの三つの重点目標を定め、徹底した運動を推進します。

【幼児・老人・身体不自由者の焼死防止対策の徹底】
ここ数年の傾向として、建物火災は一般専用住宅と共同住宅の割合がきわめて高

秋の火災予防運動

自主防火体制推進

これくらいと思う油断を火がねらう

く、しかも火災による死者も、幼児・老人・身体不自由者などの身体的弱者の占める割合が高くなっています。そこで、これら身体的弱者を火災から徹底して保護するよう図ります。

【防火管理体制の確立】

防火管理体制の整備は、従来から強力に指導推進してまいりましたが、その実態はまだ十分とはいえません。とくに雑居ビルなどでは防火管理面の不備から火災が発生している例が多く見られます。そこで防火管理者の選任を積極的に推進し、市消防本部は「平和な家庭に火事はなし」の標語をかか

【地域ぐるみの自主防火体制づくりの推進】
火災のない安全なまちづくりには、住民一人一人の自覚と相互協力が必要となります。そこで各種消防訓練を中心として、地域ぐるみの自主防火体制づくりを推進します。

市消防本部は「平和な家庭に火事はなし」の標語をかか

火災のない安全なまちづくりには、住民一人一人の自覚と相互協力が必要となります。そこで各種消防訓練を中心として、地域ぐるみの自主防火体制づくりを推進します。

火災のない安全なまちづくりには、住民一人一人の自覚と相互協力が必要となります。そこで各種消防訓練を中心として、地域ぐるみの自主防火体制づくりを推進します。

火災のない安全なまちづくりには、住民一人一人の自覚と相互協力が必要となります。そこで各種消防訓練を中心として、地域ぐるみの自主防火体制づくりを推進します。

陕西省博物館にある碑林の収蔵された館



中国・碑林の拓本展



奈良へ来る碑林拓本の一点
漢の魏王の書（西暦二〇〇年のころのもの）

西安から84種・133点

来春 全国巡回後奈良に常設

友好都市中国西安市の陝西省博物館にある「碑林」の拓本などを奈良市が友好都市提携五周年を記念して借り受け、今年一月十二日に市役所で、来年一月十二日に市役所で行なわれます。これは一月十五日から東京（三越本店）、名古屋（オリエント中村）、大阪（市立美術館）、福岡（市美術館）の各都市で展示されたあと、市が建設を予定している市文化センター（完成までは県立美術館）で

「碑林」の拓本は一般文物品ぞろいという点で、世界各国からひっぱりだこ。現在も六カ国から貸してほしいとの要請があるが、西安市は友好都市の奈良市を優先し、奈良市が他国へ貸し出すとのことです。また西安市では碑を守るため、今年十月から拓本を採取を禁止しており、それだけに今回の導入展示は千載一遇の好機といえます。

これらの展示が書道発祥の地奈良で催される意義は日中文化交流の面とともに大きく評価されるわけで、また書道愛好家はいうに及ばず全国の観光客や修学旅行生の深い関心を集めることでしょう。

二名公民館 十一月六・七両日に作品発表展があり、約四百点の作品が展示されました。同時に催された料理実習バザーではテンブラそばやタリゼン、せん茶席が大にぎわい。菊づくり教室生らの労作になる百五十鉢の菊に包まれた会場には両日で約千五百人の観覧者がありました。

市役所 十一月一日から七日までの市教育週間にちなんで市教育委員会が市内の各母さん方から募集した「母のつづる教育作文」の入賞者の表彰式が十一月五日市役所で行なわれ、入賞したつづるの母さん方に賞状と賞品が贈られました。（敬称略）

十一月一日から七日までの市教育週間にちなんで市教育委員会が市内の各母さん方から募集した「母のつづる教育作文」の入賞者の表彰式が十一月五日市役所で行なわれ、入賞したつづるの母さん方に賞状と賞品が贈られました。（敬称略）

とる自立心を奮い立たせてもらおうと、市恒例の成人式を来年に限り新春一月十三日挙行することになりました。式場は例年通り市内法蓮町、鴻池の市中央体育館。

新成人の方々は、住民基本台帳をもとに市教育委員会からそれぞれ案内状をお送りすることになっています。何かの都合で案内状が届かない場合でも、来年成人される方は進んで出席してください。

成人式は午前十時から開きます。参加者は華やかな服装は避けて、できるだけ平服で出席ください。成人式は普通バザーではテンブラそばやタリゼン、せん茶席が大にぎわい。菊づくり教室生らの労作になる百五十鉢の菊に包まれた会場には両日で約千五百人の観覧者がありました。

市役所 十一月一日から七日までの市教育週間にちなんで市教育委員会が市内の各母さん方から募集した「母のつづる教育作文」の入賞者の表彰式が十一月五日市役所で行なわれ、入賞したつづるの母さん方に賞状と賞品が贈られました。（敬称略）

十一月一日から七日までの市教育週間にちなんで市教育委員会が市内の各母さん方から募集した「母のつづる教育作文」の入賞者の表彰式が十一月五日市役所で行なわれ、入賞したつづるの母さん方に賞状と賞品が贈られました。（敬称略）

来年は1月13日

進んで参加しましょう

昭和三十五年中に生まれた若人たちは、来年いよいよ成人として一本立ちの年を迎えます。奈良市ではこれら成人を迎える方々に、おとなになった自覚を呼び起こし、みずから強く生き抜こうとする自立心を奮い立たせてもらおうと、市恒例の成人式を来年に限り新春一月十三日挙行することになりました。式場は例年通り市内法蓮町、鴻池の市中央体育館。

新成人の方々は、住民基本台帳をもとに市教育委員会からそれぞれ案内状をお送りすることになっています。何かの都合で案内状が届かない場合でも、来年成人される方は進んで出席してください。

成人式は午前十時から開きます。参加者は華やかな服装は避けて、できるだけ平服で出席ください。成人式は普通バザーではテンブラそばやタリゼン、せん茶席が大にぎわい。菊づくり教室生らの労作になる百五十鉢の菊に包まれた会場には両日で約千五百人の観覧者がありました。

市役所 十一月一日から七日までの市教育週間にちなんで市教育委員会が市内の各母さん方から募集した「母のつづる教育作文」の入賞者の表彰式が十一月五日市役所で行なわれ、入賞したつづるの母さん方に賞状と賞品が贈られました。（敬称略）

奈良市職員募集

受験申し込み12月1日まで

昭和55年度奈良市職員採用候補者を次の要領で募集します。受験希望者は11月26日～12月1日に市人事課内奈良市職員任用試験委員会（☎4706）へ手続きをしてください。

○職種・採用予定人員
一般事務職＝25人▷保母職＝40人▷技術職（土木・建築）＝若干名▷保健婦＝若干名▷消防職（男子）＝若干名

○受験資格
本市への通勤が可能で、次の資格要件（学歴・免許ならびに年齢）を満たすもの。

●一般事務職
大学（昭和29年4月2日以降生まれ）短大（昭和31年4月2日以降生まれ）高校（昭和33年4月2日以降生まれ）を昭和53年3月以降に卒業したものおよび来年3月卒業見込みのもの。

●保母職
昭和19年4月2日以降生まれで、高校以上の学校を卒業（卒業見込みを含む）し、保母資格取得者または来年3月資格取得見込みのもの。

●技術職（土木・建築）
大学（昭和29年4月2日以降生まれ）短大（昭和31年4月2日以降生まれ）の専門課程を昭和53年3月以降の卒業生および来年3月卒業見込みのもの。

●保健婦
昭和19年4月2日以降生まれで、高校以上の学校を卒業し、保健婦免許取得者および来年3月保健婦免許取得見込みのもの。

年齢	昭和29年4月2日～昭和37年4月1日生まれ
身長	1.58m以上のもの
体重	50kg以上のもの
胸囲	おおむね身長×0.1以上
視力	両眼とも0.6以上で色覚の完全なもの
聴力	2mの距離で低語を聞けるもの
言語	明瞭で十分な発声のできるもの
体格	完全かつ健康にして伝染性疾患のないもの
住居	任用後は本市域内に居住できる者か、本市近郊地域内に居住できるもので消防長が適当と認めたもの

○採用試験

●第1次試験
12月9日（日）午前9時～午後零時30分、市立一条高等学校（保母職受験者は市立三笠中学校）で筆記試験。発表は12月下旬市役所に掲示、本人にも通知する。

●第2次試験
昭和55年1月中旬。面接による口述試験、適性検査、作文、体力テスト、保母職は音楽等実技試験を併せて行なう。発表は来年2月中旬。

○受験手続き

11月26日（月）～12月1日（土）に市役所3階第5会議室で受け付ける。

受験申し込みの提出書類は試験申込書、受験票、学校成績証明書および卒業証明書（または卒業見込み証明書）。保母、保健婦を受験するものは別に受験を希望する職種の資格証明書（または資格取得見込み証明書）各1通。

試験申込書（近畿高等学校統一の履歴書）、受験票、試験実施要項は11月19日から市人事課内、市職員任用試験委員会で渡します。郵便による請求・申し込みは、返信用封筒と切手を同封すること。

固定資産税・都市計画税（第三期分）
下水道事業受益者負担金（第二期分）
の納期限です

11月30日は

下水道処理区 市の下
域に六五五戸がすす
み、十月二十六日からつづきの
十九カ町の一部あわせて六百
五十五戸が、浄化槽のいらない
水洗便所が使える処理区域

市役所

市役所

市役所

市役所

市役所

市役所

市役所

市役所

市役所

市役所

市役所

市役所

市役所

市役所

市役所

市役所

市役所

市役所

市役所

市役所

市役所

市役所

市役所

市役所

奈良にくつろぐ 北京市代表23人

友好都市東京の奈良市と、親善訪問した中国北京市友好代表団(団長・林平加北、京市革命委員会主任)の一行二十三人が、十一月七日奈良市を訪れ、奈良市長を表敬訪問しました。

午前九時三十分、市役所に到着した一行は、奈良市長、岡田市長、奈良市議員ら多数の歓迎を受けて「西安の間」に入り、一時間におよぶ懇談がなされました。

奈良市長は「奈良は鑑真和尚、阿倍仲麻呂ら日中友好先覚にゆかりの地、古代中国文化が保存されているまちです。千二



市民相談

市政相談

本庁相談室＝平日午前9時～午後4時。土曜日は正午まで。
西部公民館＝毎週火曜午後1時～4時。(電話3978番)

法律相談

本庁相談室＝毎週月曜午後1時～3時は弁護士直接相談。平日は午前9時～午後4時に「相談カード」を渡します。
12月中の担当弁護士(敬称略)
3日 吉田 恒俊 10日 沢 栄三
17日 本間 末吉 24日 木本 繁

行政相談

本庁相談室＝毎週水曜午前9時～午後4時。
12月中の担当相談員(敬称略)
5日 竹 博美 12日 桜井 利雄
19日 石橋 敦 26日 岩野 政一

人権相談

本庁相談室＝毎週金曜午前9時～午後4時。
12月中の担当相談員(敬称略)
7日 東雲 茂男 14日 植松 宗男
小川 一雄 小川 細田 武宏
21日 米浪 勝之助 28日 赤堀 綾子
高石 武一郎

年金相談

西部公民館＝毎月第3月曜午前10時～午後3時。
国民年金課＝毎月第1月曜午前10時～午後3時。厚生・国民年金の相談。

心配ごと相談

本庁相談室＝毎週金曜以外の平日午前9時～午後4時。土曜日は正午まで。

消費生活相談

本庁相談室・西部公民館＝毎週火・木曜午前10時～午後4時。

家庭児童・母子相談

本庁相談室＝毎週金曜午前9時～午後4時。
福祉第二課＝平日午前9時～午後5時。土曜日は正午まで。

戦没者遺族相談

福祉第一課＝毎月第1金曜午前9時～午後4時。遺族年金などあらゆる相談。

電話サービスセンター

電話 1211代
・問い合わせ・相談・要望・苦情
・戸籍謄抄本・付票の写し、住民票の写しの交付予約など。
電話でどうぞ。

「みどりの家」診療所で中国のハリ・キウを指導する劉敏団長(右端)ら



西安の針灸医師団 奈良で診療を指導

難病治療に大きな期待

本場中国のハリ・キウを指導する針灸、治療法などを指導するため、中国西安市の針灸(しんきゅう)講学組(団長・劉敏、西安市中心医院院長)の一行六人が十一月六日奈良市を訪れました。

市ではすでに昨年からハリ・キウを導入して小児マヒなどの難病治療に効果をあげているが、さらにこれを充実させ、新たに目の不自由な人やろうあ者をも救おうと、奈良市長が今夏西安市を訪れた

際医師団の導入を取り決めてきたもので、一行は二十八日までの二十三日間奈良市に滞在し、約五十人の市内の針灸師らに中国伝統の技術を伝授しています。中国のハリ・キウ専門家が、その技術を伝えるため来日するのは日中国交回復後、日本では初めてのことであります。

一行は六日午後四時半市役所を訪れ、奈良市長を表敬訪問。奈良市長は「中国でお仕事

があるのにわざわざ奈良市に来て針灸師を指導していただくことに深くお礼申し上げます。奈良の難病者が首を長くしてお待ちしております。相互に研修し、日本の医療も学んでお持ち帰りください」と歓迎。劉敏団長は「奈良市に約二百七十万人の西安市人民の友情を携えてまいりました。針灸という古代医学に、奈良市長が熱心に取り組んでおられることをうれしく思います。最大の努力を払い、任務を無事に果たしてまいりたい。そして両国・両市の友好に大きく貢献したい」と熱意のほどを語りました。

一行は滞在中、盲人福祉センターなどで六回の講習会を開くほか、「みどりの家」で

四回の診療指導に当たり、さらに中国で研修して帰国した針灸診療に当たっている武藤医師ら四人の医師との研修交流のほか一般医師、歯科医師、一般針灸師に対する講演なども予定されています。また県立奈良病院、天理よろず相談所病院など四カ所での西洋医学を学ぶ計画も組み込まれています。

針灸講習組の一行はつぎのみなさんです。劉敏(西安市中心医院院長)・郭誠(陝西省中医学研究所針灸教研室主任)・陳克勤(陝西省中医学研究所針灸教研室副主任)・范維玲(西安市第四医院針灸科醫師)・劉玉林(西安市中医医院針灸醫師)・陳小平(通訊)

文化祭華やか 古市・杏中両隣保館で

文化の秋を迎えて古市・杏中両隣保館で文化祭が盛大に開かれました。杏中町では、文化祭実行委員会主催で、文化の秋を迎えて古市・杏中両隣保館で文化祭が盛大に開かれました。

た。写真家は奈良市長らとシカ寄せを交わし、北上市訪日友好代表団員

文化の秋を迎えて古市・杏中両隣保館で文化祭が盛大に開かれました。杏中町では、文化祭実行委員会主催で、文化の秋を迎えて古市・杏中両隣保館で文化祭が盛大に開かれました。



方、解放運動の解説、村の被差別の歴史とともに、大正時代の消防団員が身につけていたハッピ、マといなどを、現在の近代的な消防服と対比して展示するなど盛りだくさん。

五日午後からは、子どもマの回し方の実技披露もあって、人気を呼んでいました。

一方、古市隣保館では昭和四十八年から毎年開かれており今年で七回目。「部落差別と闘う力」をテーマとし、元気に選手

母子家庭運動会 五百人が楽しむ

母子家庭の母と子に秋の一日を思いきりスポーツで楽しんでもらおうと、第八回母子家庭運動会が十一月四日、古市小学校で開かれ、母子家庭の母と子、市の未亡人たちが組織する母子家庭の会から約五百人が参加しました。

開会式では、井小六郎の采女知佳さんが「今日は思いきり走ります」と、元気に選手

賞品には学用品や「五徳みそ」などが用意され、子どもたちだけでなくお母さんたちも大はかり。元気な走りながら子に拍手をおくるお母さん。お母さんの健闘を声援する子どもたちの明るい歓声がグラウンドいっぱいにこだましていました。



玉入れ競技に興ずる母と子ら

に」と題して「教育」をテーマにグラフと文章で教育差別の実態を示し、「部落差別を抜きに、教育の向上はありえません。お父さん、お母さん、そして町のみなさんが部落完全解放に立ち上がらない限り、子どもたちが教育を受ける権利は決して保障されないでしょう」と父兄に訴えていました。写真家は古市隣保館での文化祭

去る十月二十三日から市役所支庁関係で開かれていた第九回「平城宮跡菊花大会」の審査が十一月八日行なわれ、出品者が心をこめてつくった見事な作品六百五十四鉢のなかから市関係ではつぎの四十三人が入賞しました。(敬称略)

【総合花壇】岡崎正己
【大菊三本立て花壇】中田勝康・西田芳一・奥田則子
【荒井正一】中村武男・中島秀雄
【特殊総合花壇】西口重一・南沢弘・広瀬正三・沢口一彦・伏見小学校
【盆栽】平木藤太郎・増田兼夫
【補助花壇】北野作男・山岡タカ子・中田勝康・中城直一・中川安次・西田義子・荒井正一・奥田則子・永井清・椎木鹿之助・佐々木定人・中村武男
【一般市民一鉢】吉岡正男・北野津屋子・松本卯之・中草・森田一枝・山本しず・松本一雄・中村貞子・田中生子・山治一
【大菊三本立て花壇四鉢組】西田義子・荒井正一・山岡タカ子・浦部和子・清川久男・佐々木定人・永井清・中城直一・西藤隆道
【懸崖】中田勝康・岡本潤一・佐々木定人・岡崎正己
【荒井正一】藤川幸一
【参考出品芸術賞】中川安次
なお、この菊花大会は今年二十四日まで開かれていま

43氏入賞

平城宮跡菊花大会

